

# QMS委員会 2020年度事業計画（案）

## 第4号議案

2020年7月14日

CIAJ QMS委員会

## ◆目次

1. 活動方針
  2. 運営体制
  3. CIAJ本体からの指示事項
  4. 2019年度の申し送り事項への対応
  5. 2020年度の運営方針
  6. 2020年度の活動計画
- 【ご参考】 外部機関との連携（行政・社会性）**

# 1. 活動方針

## 活動方針

・グローバル経済の中、**3つの活動視点(会員企業, 行政, 社会性)**により、ISO 9001に準じたQMSを活用し、**会員企業の製品品質/サービス品質及び経営品質のパフォーマンス向上を目指す。**

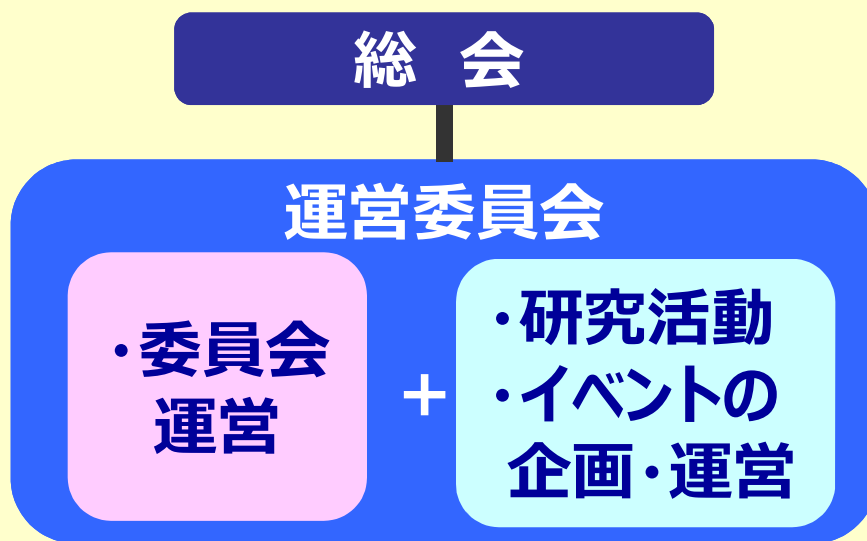


< **3つの活動視点** >

## 2. 運営体制

### 運営体制

- 運営委員会：委員長,副委員長,運営委員,会計監事,特別委員,フェロー
- 運営委員会開催時,各イベントの企画検討状況・進捗状況の確認,成果物等のレビューを実施
- QMS研究活動は運営委員会開催時や各イベントとのコラボレーションによる運営一体化にて効率的な委員会運営を実現



会員企業数：14社  
 委員長：1名  
 副委員長：1名  
 運営委員：2名(TC176委員含む)  
 特別委員：1名  
 会計監事：1名(副委員長兼務)  
 フェロー：2名  
 (2020年6月末現在)

## 3. CIAJ本体からの指示事項

### 委員会活動への指示事項

- ① 共通経費の一部負担
- ② 経過措置期間及びその後の共通経費負担に関する課題抽出、活動活性化の検討
- ③ 予算精度を高めるための実行をともなった予算値策定
- ④ 事業環境変化を踏まえ、あるべき姿を観点とした「各活動の目的、活動計画の策定」
- ⑤ 法人としてのコンプライアンスの遵守

### QMS委員会の取組み

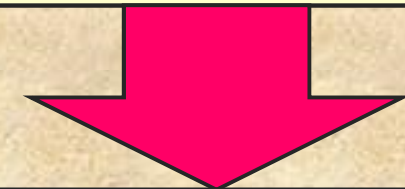


- (1) 2020年度の活動計画（P8~P10参照）を実施し、会員企業の基盤強化・向上に貢献する。
- (2) イベント・企画の実施については、運営委員会にて会員企業にとって役立つ企画（社会状況、事業環境変化、公益性の観点を踏まえ）をミッションとして企画立案し、会員企業への募集を行う。
- (3) QMS委員会の活動に会員企業の意見と取り入れるため、各活動からの意見収集とともに、運営へのメンバー募集を継続していく。

## 4. 2019年度の申し送り事項への対応

### 申し送り事項

主催するイベント・企画について、従来の運用方法に加え、社会状況に対応し得る運用方法を検討し、実施する。



### 申し送り事項に対する2020年度の対応

会員企業からの様々なご意見（ニーズや課題等）や社会状況を鑑み、より会員企業にとって、役立ち、参加しやすい工夫・企画（職場で活用できる実践的な講義内容や気付きを得る上で『一見の価値あり』の見学先の選定など）を検討し、試行する。

## 5. 2020年度の運営方針

### 2020年度の運営方針

『QMSのプロセスを改善する』(継続)

テーマ：QMSのプロセスを順応性，柔軟性のあるものに変えるには

### 『QMSのプロセスを改善する』とは・・・

- 様々な組織において，現在運用しているQMSが組織にとっていつまでも最適なもので有り続けることは，事業環境の変化や技術革新などの影響を受け，非常に難しい。
- 本年度のコロナ禍の社会状況において，外部監査だけでなく内部監査も含めてこれまで通りの適用が難しくなっており，新たな監査の有効性の検討が必要になってきている。

### なぜ『QMSのプロセスを改善する』なのか・・・

- 組織としてはQMSを運用しているが，『QMSのパフォーマンスが上がらないこと』や『QMSの形骸化』に再度陥っていないだろうか？また，コロナ禍の影響としてこれまで通りの監査運営が難しくなっていないだろうか？ etc

## 6. 2020年度の活動計画 (1/3)

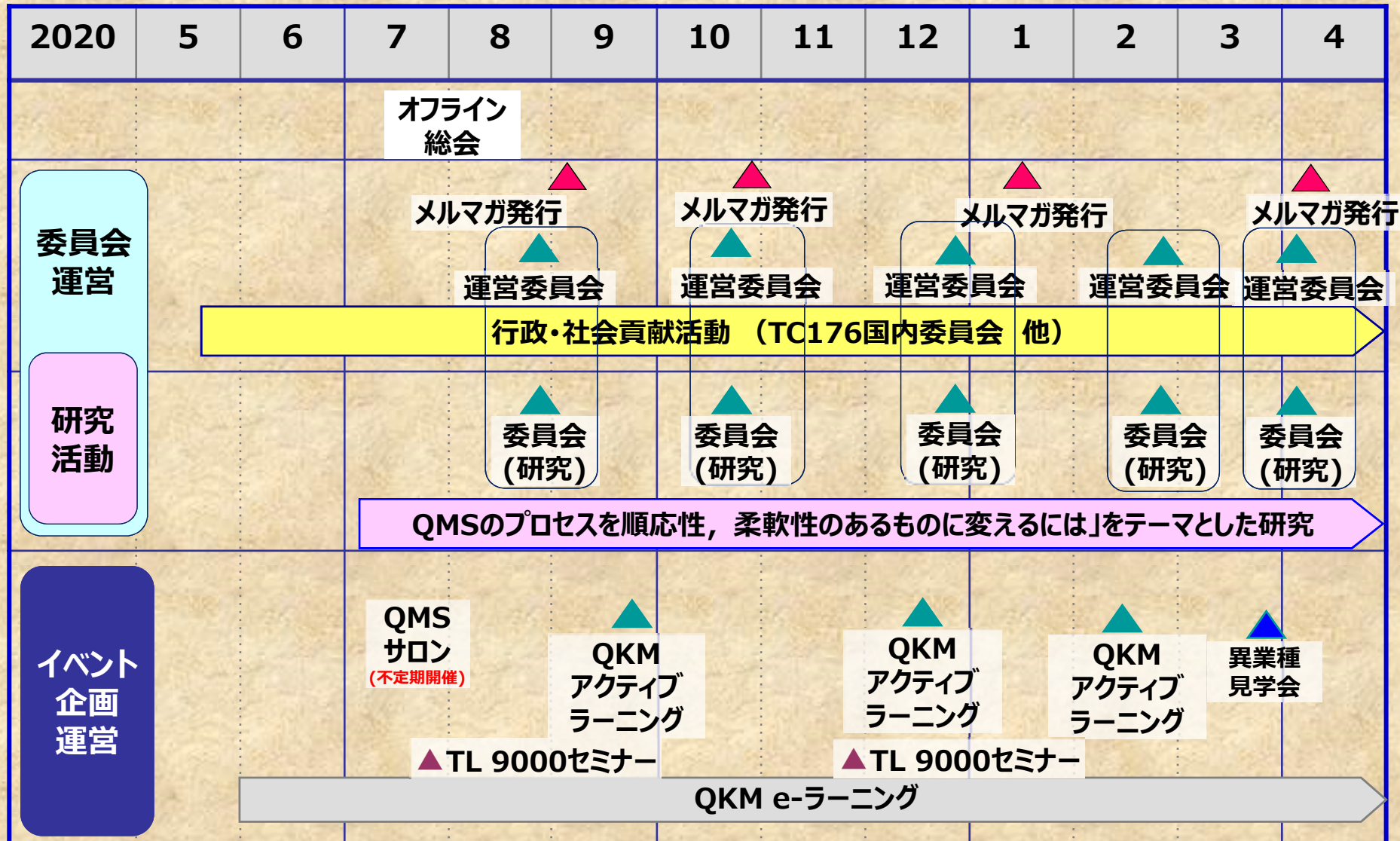
委員会運営	内容
運営委員会	QMS委員会の意思決定の会議体。 QMS委員会の活動方針及びそれに伴う各活動の内容について、検討・議論の上、整合を行う場であり、また、研究活動も行う場。
メルマガによる 会員向けの情報 発信	会員向けのメールマガジンによる、QMS委員会のイベント企画告知/報告、QMS関連の最新動向、特別連載記事“知的資産活用型企业への道”などのQMS関連情報の定期的なプッシュ型情報の発信。
情報収集ならびに 行政・社会への貢 献	TC176国内委員会への委員派遣、ISOフィードバック調査や規格制定へのコメント実施。 標準化/品質関連諸団体のセミナー・教育参画による情報収集実施。
研究活動	内容
QMSのプロセスを 柔軟性、順応性 のあるものに変え るにはどの様に考 え、活動していけ ば良いのかを研究	「QMSのプロセスを順応性、柔軟性のあるものに変えるには」をテーマとし、社会状況や事業環境の変化、特に本年度はコロナ禍などの影響を受けながらも最適なQMSのプロセスを目指すにはどの様に考え、活動していけば良いのかをISO 9001 品質マネジメントシステムの本質を考え、研究活動を進めていく。



## 6. 2020年度の活動計画 (2/3)

イベント企画・運営	内容
QKM アクティブラーニング	実践的なQMSの学びの場（講義形式，ワークショップ形式等）組織的学習のため，リスクを見つけ出し・機会(オポチュニティ)を自主的に取りにいく能力を身に付ける場。
QKM e-ラーニングサービス	ISO 9001:2015規格解釈に加え，品質管理基礎講座；4コースを継続して提供。
TL9000セミナー	TL 9000の外部機関と連携したセミナーを提供。
異業種見学会	異業種の品質に関わる活動や交流を通して気付きを得る「異業種見学会」の開催。
QMSサロン	会員企業においてQMS推進に携わる方を交え，QMSへの知的資産活用やQMSの高度化活用への気づきの場を提供。 （会員企業メンバの気づきの声をふまえ，必要に応じてQMS研究活動へフィードバックする）
H P 運営	QMS委員会のH Pを定期更新し，会員企業へ情報発信。

# 6. 2020年度の活動計画 (3/3)



一般社団法人  
情報通信ネットワーク産業協会



**C I A J QMS委員会のHP**  
**URL : <https://www.ciaj.or.jp/qms/>**

## 【ご参考】 外部機関との連携（行政・社会性）

